

# 2023 コロキウム 構造形態の解析と創生

## コロキウム構造形態の解析と創生 2023 開催趣旨

近年の建築の設計プロセスにおける3D-CADやBIMの利用は、意匠、構造、設備、施工の連携を強め、また、これまで不可能であった複雑な形態の建造物の建設も可能にしました。また、デジタル・ファブリケーションの技術が普及し、建築のデザインに大きな変化を与つつあります。実現可能な建築表現の自由度が急速に増すなかで、建築物の形態をどのように決定すべきかという問題について、今後更に深く考えていく必要があります。

本コロキウムは2006年度から毎年開催しており、今年で18回目を迎えます。これまでに、構造形態創生、構造最適化、アルゴリズム・デザインといった建築構造物の形態を創り出すための理論・技術に関する研究や、実際のデザインへの応用事例などが数多く紹介され、活発な議論が展開されてきました。これらの理論・技術は一過性のもではなく、本質的なニーズの上に成り立った重要な建設技術であり、新しいコンセプトや最新のアルゴリズムなどを取り入れながら、議論を重ねて今後も発展させていく必要があります。

本年度開催する「第18回コロキウム構造形態の解析と創生2023」では、これまでと同様に形態創生の理論・技術に関わる研究者、技術者が一堂に会して最新の情報を交換すると同時に、理論・技術だけでなく、それらを具体的な建築物、プロジェクトなどに応用した事例紹介についても議論することで、これらの研究・技術分野が益々発展することを期待して開催されます。

## ● 講演論文募集

研究論文と技術報告のふたつのカテゴリーに分けて募集します。研究論文は、建造物の形態を創り出すための理論・技術に関わる研究を対象とします。い構造力学的な手法に限定せず、材料、生産、計画、環境の視点からの構造形態に関するアプローチなど、幅広い内容の発表も歓迎します。また、既発表のものでも新たに纏めたものであれば申し込みを受け付けます。講演論文の査読はありません。ぜひ奮ってご応募ください。

発表登録 締切 (延長!) : 2023年 9月20日 (水) ウェブサイトから登録

論文提出 締切 (延長!) : 2023年 10月13日 (金)

\* 応募方法や表彰規定などにつきましては、コロキウム構造形態の解析と創生2023のホームページ <http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s49/index.htm> をご確認ください。

## ● 形態コンテスト作品募集

課題 「アジャイルなかたち」

審査委員 : 満田 衛資 舘 知宏 鳴川 肇 平野 利樹  
京都工芸繊維大学 / 審査委員長 東京大学 慶応義塾大学 東京大学

特別審査委員 : 田村 尚土 木下 拓也  
ディックス 竹中工務店

応募登録 締切 (延長!) : 2023年 9月20日 (水) ウェブサイトから登録

作品提出 締切 (延長!) : 2023年 9月25日 (月)

\* 応募方法や表彰規定などにつきましては、コロキウム構造形態の解析と創生2023のホームページ <http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s49/index.htm> をご確認ください。

日時 : 2023年 11月16日 (木)・17日 (金)

会場 : 日本建築学会 建築会館ホール

\* 1日目 : 特別講演+コンテスト公開審査 (完全対面形式)  
2日目 : 講演論文発表 (対面 & オンライン併用形式)

主催 : 日本建築学会 構造委員会 : シェル・空間構造運営委員会 構造形態創生小委員会  
構造委員会 : 応用力学運営委員会 構造最適化と統合設計小委員会

後援 : 建築情報学会